

テーマティック郵趣 作品制作ガイド

テーマティック郵趣とは？

テーマティック郵趣 (thematic philately) とは、切手類の図柄や文字を引用して、自分の表現したいテーマを物語として示した作品や、作品づくりに関わる活動全般を指し示した言葉です。

仲間と展覧会を開催したり、公募コンクール形式の展覧会に作品を出品したりしながら、人々に物語を伝えることを目的としており、今日では、ヨーロッパ、アジア、南米を中心に世界中で盛んに行われています。

テーマティック郵趣作品は日本では、各地のサークルが主催する展覧会や、全国から作品を公募して行われるコンクール形式の展覧会（「JAPEX (ジャペックス)」など）で展示されています。



JAPEX (ジャペックス) テーマティッククラス (部門) の様子

本書の内容

1. 物語のテーマを考える
2. 物語の構成を考える
3. 関連する切手類を入手する
4. リーフを作成する
5. 切手類をリーフに貼る

(公財) 日本郵趣協会 普及委員会

<http://yushu.or.jp/>

1. 物語のテーマを考える

テーマティック郵趣の目的は、切手類を使った作品を通じて物語を伝えるというものです。最初のステップとしては、伝えたいテーマを考えることから始まります。何人かのテーマティック郵趣を楽しんでいる人に聞いてみると、テーマの決め方については、主に次の2つのどちらかの方法で、決める人が多いようです。

- ・自分の趣味や仕事に関係することから考える

例. 趣味がスキーなので、スキーをテーマにする

- ・好きで集めている切手類から考える

例. 猫の切手を集めているので、猫をテーマにする

2. 物語の構成を考える

(1) テーマにまつわる要素を考える

物語の「構成」とは何でしょうか？「構成」の意味を国語辞典で調べると「いくつかの要素を1つの目的に向かって、まとまりのあるものに組み立てること」と書いてありました。

猫をテーマにした作品を例にとってみましょう。ここでの目的は「猫について説明すること」です。まず、猫に関する要素を簡単に挙げてみました。

まねき猫
ペット
ライオンの仲間（ネコ科？）
夜行性
ネズミを食べる
ドラえもん

(2)考えた要素を、「まとまり」として整理する

集まった要素の内容を、そのまま作品にまとめようとする
と脈略がない物語になってしまいそうです。そこで各要素
について「それって、つまり〇〇のことだよな」とまとめ
られる内容として、書いてみましょう。

- まねき猫 →シンボルとしての猫
- ペット →猫と人とのかかわり
- ライオンの仲間（ネコ科？） →ネコ科動物
- 夜行性 →猫の生態
- ネズミを食べる →猫の生態
- ドラえもん →シンボルとしての猫

(3)要素の「まとまり」を物語の順序として並べる

各要素の「まとまり」を整理してみましょう。いま「ネコ
科動物」、「猫の生態」、「猫と人との関わり」、「シン
ボルとしての猫」という4つのまとまりがあります。これ
らを作品を見る人に分かりやすく並びかえてみましょう。

おすすめの方法としては、①そのテーマの定義を語り（ネ
コ科動物）、②テーマ自体について語り（猫の生態）、③
テーマが影響を与えているものについて語り（猫と人との
関わり）、④テーマの発展形について語る（シンボルとし
ての猫）という構成があります。

1. ネコ科動物における猫
2. 猫の生態
3. 猫と人とのかかわり
4. シンボルとしての猫

次ページは「バラ」をテーマにした作品で、この構成を
表現した例です。

バラのきた道

その生い立ちと人々とのかわり

園芸植物のなかでも、最も古い歴史をもつバラ。豊かな芳香と色彩で御機嫌と吹き語る現代のバラだが、そこへいたるまでの時間と道のりは決して容易ではなかった。辺境の地ヒマラヤ山系から旅立ったバラたちは、さまざまな手段で移動・交雑を繰り返し、風土に合わせて進化し定住する。現在では広く北半球に分布している。

多くの人々の強志と努力により改良されたバラは花木の商品に君臨する。世界中の人々に愛されるようになり、単に園芸の観賞対象としてのみならず、人々の日常の営みに深く関わっていく。

本展示では、バラの歴史、バラの移動とその時代背景、その後の定住地、進化の過程と繁栄の状況、人々とのかわりについて展開した。

展示プラン	1
第1章 バラの起源	2
1. 1 生物の分類と博物学者リンネ	2
1. 2 バラ科の植物たち	4
1. 3. バラの起源地地ヒマラヤ山系	14
第2章 バラの移動とその時代背景	17
2. 1 軍団によって広められたバラ	17
2. 2 大航海時代・東西文明の交流	20
2. 3 バラの移動後の定住地	25
第3章 関わりつづける歩み	33
3. 1 バラのルネッサンス	33
3. 2 「モダン・ローズの女神」ジョセフィーヌの功績	37
3. 3 麗げつらの鑑賞	39
第4章 バラは人々とともに	49
4. 1 チューダー朝の最華に合ったバラ	49
4. 2 自由・平等のシンボルとしてのバラ	53
4. 3 愛・LOVEの表現手段としてのバラ	57
4. 4 様々なシンボルとしてのバラ	61
4. 5 悠久の時を経てバラは	64

左は、作品の1枚目に展示する作品の目次のページで「タイトルリーフ」と言います。4章ありますが、各章の下に「節」と呼ばれる各章の要素の内容と、該当するページが書かれています。

「節」、さらに細かく言えば各ページも前後関係が自然につながるように順序を考えてみましょう。

展覧会ではA4サイズに換算して「横1行あたり4枚×4列＝16枚」を1フレームという単位で数えて展示します。この作品は64ページなので4フレームの作品です。

【コラム】物語の構成方法のいろいろ

物語の構成の考え方の一例として、どのようなテーマでも使える方法を紹介しましたが、他にも①史実を作品にする、②主張したい事に対する理由や根拠を順々に挙げていく方法があります。史実を作品にする場合は、作品を作る時に、あまり章や節の前後関係に悩む必要は無いですが、各史実にマッチする切手類が必ずしもあるとは限らないのが難点です。②は「幸福とは何か？」のような、抽象的な主題の作品に適しています。

3. 関連する切手類を入手する

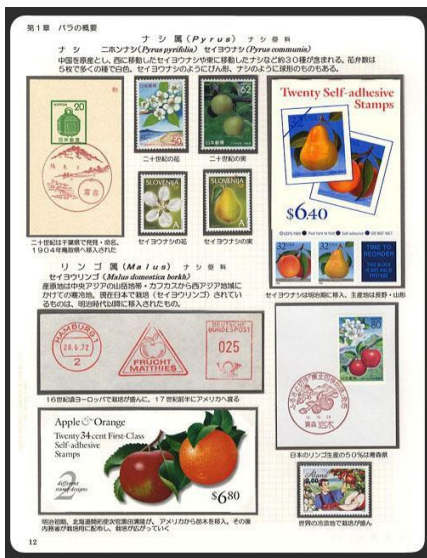
テーマティック郵趣で威力を発揮するのが、ネットオークションです。関連するキーワードで検索して探してみましょう。1ページに、なるべく多くの国・種類の切手類を使うと、作品の見栄えが良く、見る人にとっても飽きない作品になるようです。



eBayの「Stamp」カテゴリ

eBay、Delcampeといった世界中の人々が出品するオークションサイトには、世界中からの出品があり、安価な物から高額品まで予算に合わせて、入手する機会があります。

テーマティック郵趣に使える展示物として、よく展示されるものとしては、切手の他に、官製はがき、消印、切手帳の表紙、メータースタンプ、電報があります。官製はがき以外は、図案がよくわかる未使用が良いでしょう。



1ページになるべく多くの国・種類の切手類を展示した例



ヨーロッパの電報を展示した例

4. リーフを作成する

パソコン、手書きどちらでも可能です。パソコンで多くの人が使うソフトの中ではMicrosoft Power Pointが手軽です。

(1)リーフの大きさを決める

「リーフ」とは切手類を展示するための厚紙です。切手店で販売されているリーフや、文具店で「中性紙(A4サイズ)」と呼ばれる厚紙を購入するのも良いでしょう。

(2)作品の構成に沿って、各ページの上に表題を書く

各ページに表題を書いていきます。物語の構成で考えた各まとまりを「章」として左上か右上に表し、そのページを表す内容を作品上部に書きます。

(3)切手類のサイズを測り、切手類を貼る位置を決める

切手類のサイズを測り、タテ・ヨコそれぞれ2ミリ程度長い長さで、黒か灰色の枠を書きます。枠を書くことで切手類が引き立って見えます。リーフに貼れる切手が少ないことがあると思いますが、作品を作り上げてしまいましょう。

(4)各リーフ内容を要約した文章を書く

各リーフの内容を要約した文章を書きます。見る人がさっと読めるように2-3行程度が適当です。

(5)各切手類についての説明を書き、小見出しを付ける

各切手類の説明を簡潔に書きます。また、1枚のリーフの中でも内容(切手類)のまとまりごとに、小見出しを付けると、読む人にとって分かりやすくなります。

(6)目次のページ(タイトルリーフ)を作る

P.4コラムで示した形を参考に、タイトル、作品全体の要約、目次の3点を記した目次のページを作ります。

第2章 パラの移動とその時代背景

十字軍遠征の将兵はバラを故国へ

11世紀末～13世紀末の200年間、聖地エルザレム奪回を目指した十字軍。遠征の帰途将兵たちは様々なバラを故郷へ持ち帰る。この遠征は地中海世界の東西交流の結果を生み「大航海時代」への素地となった。バラにとって大きい西進旅行となった。

ヨーロッパキリスト教徒の奪回目標となった聖地エルザレム



古代イスラエル・ユダ王国の首都で、かつてエルザレム神廟が存在した。ユダヤ教・キリスト教・イスラム教共通の聖地。またイエス・キリストが処刑された地でもあり、イスラム教徒の支配から奪回目標となる



イスラム軍と十字軍の戦い



キリストの墓の上に建てられた聖墳墓教会とビザンチン帝国初代騎士団「エルザレム聖墳墓騎士団」

十字軍がフランスへ持ち帰ったバラ、ロサ・ガリカ
フランスのシャンブニュール伯が遠征の帰途、パレスチナからロサ・ガリカを持ち帰る。ガリカは古代ローマ時代、現代のフランス地域を「ガリア」と呼んだことによる



フランス南東部プロバンス、このバラの栽培で有名になった。このためロサ・プロビンキアリスの別名（一般にはフレンチローズ）ができた理由



フランス南東部、プロバンス地方の都市「グラッセ」、バラの栽培・香料の生産地として有名

上写真の枠の色は、左ページの文字の色と対応しています。

5. 切手類をリーフに貼る

(1)切手

切手を「マウント」と呼ばれる薄い透明のケースに入れてリーフに貼ります。貼付けには文具店で販売している「弱粘性の両面テープ」を使うと、作品の修正時などに貼り替えが楽です。

マウントを切手の大きさに合わせて切るためにカッターナイフ、はさみ、切手店で販売されている専用器具のどれかを使います。



マウントをはさみで切る様子

(2)切手帳、官製はがき、切手を貼った古封筒（カバー）など切手店で販売している「コーナー」を切手帳などの四隅の角に入れ込んで貼り付けます。

カメラ店で販売している写真用コーナーの方が、コーナーが小さくて目立たず、きれいに見える場合もあります。なるべく透明色のコーナーが良いでしょう。



コーナーを使って官製はがきやカバーを展示した例

テーマティック郵趣作品制作ガイド

制作・発行：（公財）日本郵趣協会 普及委員会
〒171-0031 東京都豊島区目白1-4-23 切手の博物館 4階
TEL 03-5951-3311（代表） FAX 03-5951-3315